

薄型テレビ つっぱりポール設置システム
TV セッタージュネス

EI400

設置マニュアル

この度は、お買い上げいただき誠にありがとうございます。

当商品は、DIY（日曜大工）が得意な方でしたら、慎重に作業すれば設置可能です。

しかし、組立・取り付けの不備による事故について保証はございませんので、作業に際しましては十分にご注意ください。ようお願い申し上げます。

不安な方は、お近くの内装業者・電設業者へ依頼をされる事をお勧めします。



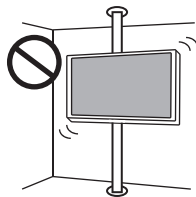
組立不良・取り付け不良、および天災等による事故・損害については、一切の保証はございませんので、ご了承ください。

- ・安全性を十分に考慮し、設置中に怪我や部屋にキズを付ける事の無いよう注意下さい。
- ・設置にあたっては、十分な作業スペースを確保してください。
- ・設置作業は2名以上で行うことを強く推奨いたします。
- ・テレビ設置以外のご使用、部品の改造等はしないでください。
- ・設置中に少しでも不安を感じた場合は、作業を中断し、お近くの内装業者・電設業者にご相談ください。

設置にあたって：必ずお読みください



- 必ず強度のある天井（梁がある場所、補強&コンクリート天井）・床にしっかりと設置してください。無理な設置はテレビの落下、大怪我に繋がります。
- 電源コードや配線にキズを付ける事の無いように注意ください。火災などの原因になります。
- 設置の際は、テレビや周辺機器の電源をコンセントから抜くようにしてください。
- 以下の場所には設置をしないでください。
 - ・振動があるような不安定な場所
 - ・人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
 - ・湿度や温度の高い場所
 - ・テレビの通気が悪い場所（エアコンの側、天井のすぐ側等）
 - ・開閉するドアの側
 - ・その他、テレビ設置に不適格だと思われる場所



※振動など無理な設置

ポール設置については、ポールの説明書も熟読ください。

●期間限定 設置用（シークレット）プレゼントアイテム



水平器（デザインは異なる場合があります）

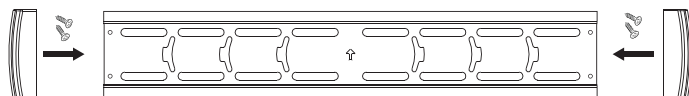


結束バンド

テレビ金具部 付属部品リスト一覧

以下の部品が全て揃っているかをご確認ください。

A ベースプレート ※予めプレートの両端にカバーをネジで取り付けておいてください。

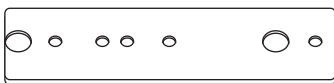


●ネジパッケージ

ボールに補助プレート [D] を取り付ける際に使用します。

補助プレート - 2 枚

D



皿ネジ - 4 本



コマ - 4 個

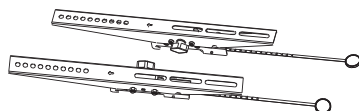


ボール打ち用ボルト × 4 本



ボール打ち用ワッシャー × 4 個

B テレビブラケット × 2 個 ※左右対照



●ネジパッケージ テレビとテレビブラケットを組み立てる際に使用します。

M-A



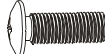
M5 × 14mmボルト
4 本

M-B



M6 × 14mmボルト
4 本

M-C



M8 × 20mmボルト
4 本

M-D



M6 × 30mmボルト
4 本

M-E



M8 × 30mmボルト
4 本

M-F



角型ワッシャー 4 個

M-G



小型スペーサー 8 個

M-H



スペーサー 4 個

● 以下のネジは別途同梱。上記 [M-A～M-E] がテレビに適合しない場合、使用して下さい。



M4 × 14mmボルト 4 本



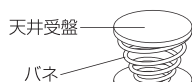
M4 × 25mmボルト 4 本



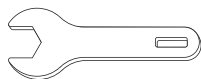
M5 × 25mmボルト 4 本

つっぱりポール部 付属部品リスト一覧

以下の部品が全て揃っているかをご確認ください。



天井受カバー



高さ調節ボルト用スパナ



回転止めパーツ ×4 個

設置の前に必ずお読みください

当商品は、通常のつっぱりポールと同じ構造です。つっぱりポールの設置には万全の注意を払ってください。

組立不良・取り付け不良、および天災等による事故・損害については、一切の保証はございませんので、ご了承ください。



ご注意

ポールの耐荷重について

メーカー発表のポールの耐荷重は 50kg ですが、当社独自で実際にテレビを設置し、震度 6 強の耐震検査を行った結果、テレビを設置した場合の耐荷重は当社商品ページの記載にある通りです。それ以上の重さのテレビは設置しないで下さい。

適切な天井の状態について

当商品は 天井と床を強く突っ張る事で設置強度を高めます。天井は、以下の場所を選んで設置するようにしてください。

- 天井裏に梁通っている場所
- 鉄筋等、天井下地がシッカリしている場所



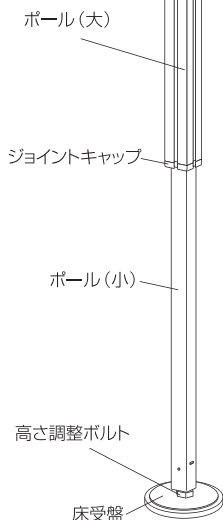
ご注意

梁が無い天井に設置した場合、震災が来た時に天井が浮いた状態になり、ポールの転倒が発生しやすくなります。

天井や床の設置痕について

設置痕については、通常のつっぱりポールと同様です。

- 畳や絨毯には設置跡が強く残ります。
- フローリング床には、若干の痕が残る場合があります。
- 石膏ボード天井は 若干の変色、跡が残る場合があります。



ステップ 1

ブラケットの可動部の確認



設置後、快適なメンテナンスをする為に、以下の点を確認してください。

① ロック解除用の紐について

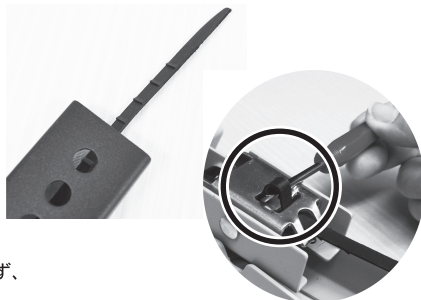
ロック解除用の紐は、画像のような形状をしています。
下方向へ引っ張る際に、紐の凹凸が引っかかることで、
ロックを解除する仕組みとなっております。

紐を、上方向へずらし調整することが可能ですが、
下方向へ戻す事がやり難い構造となっております。

上方向へ引っ張りすぎないようにご注意ください。

上方向に紐を引っ張りすぎるとテレビの下部まで紐が届かず、
ロック解除が困難となる可能性がございます。

テレビの大きさによりテレビ下部まで紐が届かない場合は、
壁に取り付ける前に紐を下方向へ調節してください。



紐をずらす作業が難しい場合は、
マイナスドライバー等で紐を
少し上にあげてから調整してください。

② スプリング（バネ）の引っかかり位置の確認

図の位置にスプリングバネが掛かっている事をチェックします。

上下左右にずれている場合、ペンチ等で正しい位置に直してください。

※特に上下に別の位置にバネが掛かっている場合、必ず正しい
位置に付け替えて下さい。



③ ロック機構の動きを確認する

お買い上げの金具は、従来の金具のように設置の最後に、ネジでブラケットを固定する必要がありません。
設置前に機構の動きをよくご確認ください。

ベースプレートがブラケットのフックに引っ掛けて押し当てます。



1

ゆっくり押し当てると、徐々にロック部のバネが伸びていきます。



2

「パチンッ」と音がして、ロック部の爪が掛かります。これでOKです。



3

解除用の紐を引っ張って、ロックを解除します。プレートを外します。



4

解除できない場合は、紐を斜め(テレビ側)に引っ張ってください。



5

起き上がったロック部を指で押して元に戻します。



6

ステップ 2

テレビブラケットの取り付け

1 テレビ背面にブラケットをあてがいます。

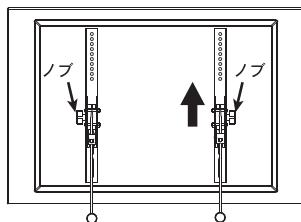
図を参考にブラケットをテレビ背面のネジ穴にあてがいます。

角度調節ノブを外側にして下さい。

左右を間違えないように設置をお願いします。

どれかのネジ穴に合うはずです。

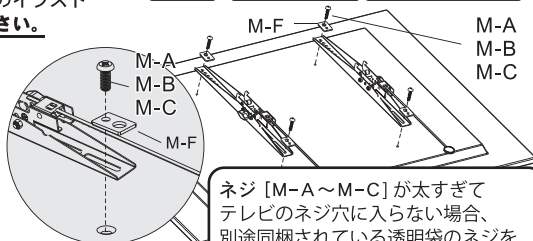
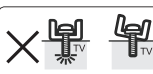
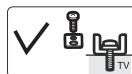
万一、テレビの背面のネジ穴とブラケットのネジ穴が合わない場合、テレビの壁掛けは出来ません。



2 テレビの背面が平面の場合の取り付け

テレビブラケットをテレビに取付します。下記のイラストを見て**金具の上下を間違えないようにしてください。**

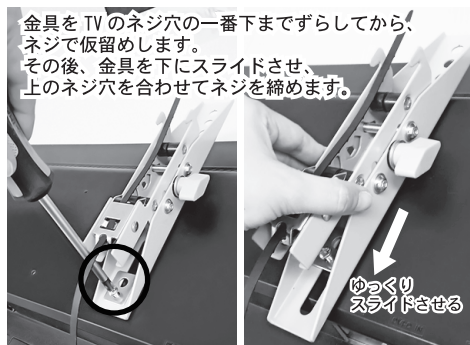
ネジ穴を合わせて、ネジ [M-A～M-C 他各種] とワッシャー [M-F] で取付をします。テレビに合うネジがない場合、お手数ですがホームセンター等でご用意下さい。



ネジ [M-A～M-C] が太すぎてテレビのネジ穴に入らない場合、別途同梱されている透明袋のネジをお使い下さい。

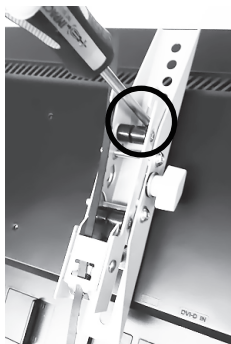
テレビのネジ穴が 100mm 間隔の場合

以下の手順を参考に取付けて下さい。



金具を TV のネジ穴の一番下までずらしてから、ネジで仮留めします。その後、金具を下にスライドさせ、上のネジ穴を合わせてネジを締めます。

ゆっくりスライドさせる

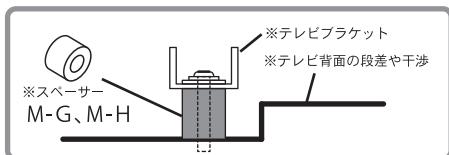


仮留めしていた下のネジをきっちりと締めます。



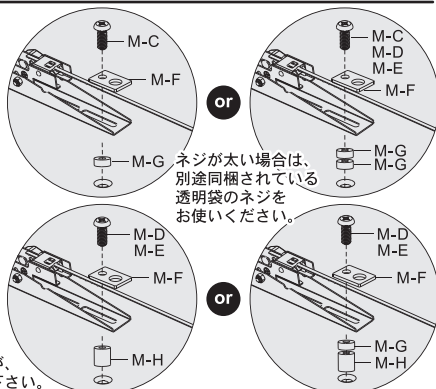
ロックの解除によりネジ締めが楽に行えます

3 テレビの背面に段差がある場合、もしくはネジが長すぎる場合の取り付け



テレビに段差があったり、ネジが長すぎる場合、付属のスペーサーを使って、段差などを埋めます。最適なスペーサーのつまみ合わせ方については、右図を参考にお手元のテレビに合わせて下さい。

※ワッシャーには 2 箇所穴が開いていますが、ネジの太さに合わせてどちらかを使用して下さい。

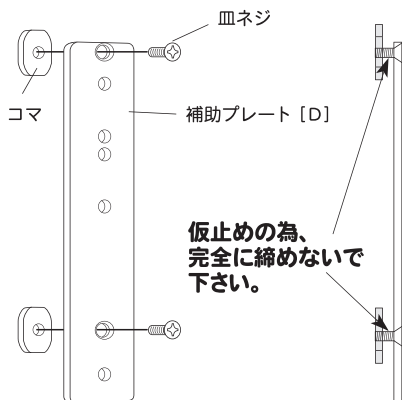


ネジが太い場合は、別途同梱されている透明袋のネジをお使いください。

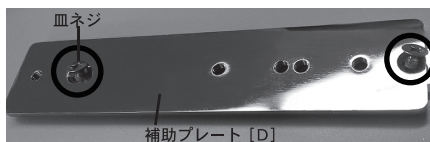
ステップ 3

ボールへの補助プレートの取り付け

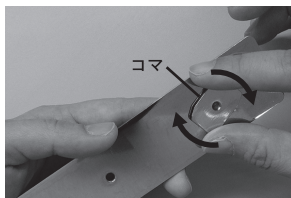
- 1** 補助プレート [D] の 2 箇所の皿ネジを通し、コマを仮止めします。同様の物を 2 枚組み立てます。下図を良く見て組み立て作業を行ってください。



仮止めの為、
完全に締めないで
下さい。



皿ネジを溝にはめ込みます。この時、溝以外に皿ネジを入れると、ネジが届かず設置できませんのでご注意ください。

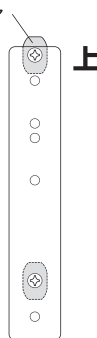


皿ネジを指で押さえて、裏からコマのネジ穴を合わせます。2～3 回ほどコマを回して仮留めしてください。
※ネジは完全に締めないでください。

- 2** 補助プレート [D] をボール (大) に取り付けます。下図を参考に、ボールのジョイントキャップ部より、ボール (大) の溝にコマが見える方を上にして上下のコマを通します。ボールを横に倒してプレートを「滑り込ませる」と作業がやり易いでしょう。



ボールに
補助プレート [D] を
滑り込ませます。



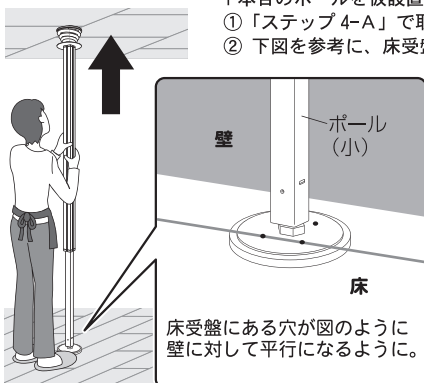
- 3** 2 本のボールに対して、それぞれ補助プレート [D] を滑り込ませてください。この段階では仮止めですので、適当な位置までプレートを滑らせたら、ボールを立てた時に落ちない程度まで皿ネジを締めてください。キツく締める必要はありません。

ステップ 4-A

1 本目のボールの仮設置

1 本目のボールを仮設置します。

- ① 「ステップ 4-A」で取付けた補助プレートが正面に見えるようにします。
- ② 下図を参考に、床受盤の穴が壁に対して平行になるように調整して下さい。

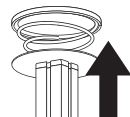


床受盤にある穴が図のように
壁に対して平行になるように。

床受盤を床に付けたまま、ボール (大) を持ち上げて上方向にゆっくり引き伸ばします。
この段階では、軽くバネが縮む程度の仮止めにしてください。



ご注意



軽くバネが縮む程度の
仮止めに。

天井裏に梁 (ハリ) のある場所、もしくは補強されている場所が設置に適切です。梁以外の場所に設置すると、突っ張り強度が落ちます。

ステップ 4-B

設置の精度・耐震性を高める為に



設置の精度・耐震性を高めるためには、ポールを垂直に立てる事が重要です。イラストのようにポールに沿わせる事の出来る水平器をご用意いただき、前後・左右それぞれにしっかりとポールが垂直である事を確認してください。



ご注意

ポールの移動や位置の調節時のご注意

ポールには太い部分（ポール大）と細い部分（ポール小）があります。

ポールの移動や位置の調節時にポール（大）部分を持つとポールが伸びてしまう場合があります。

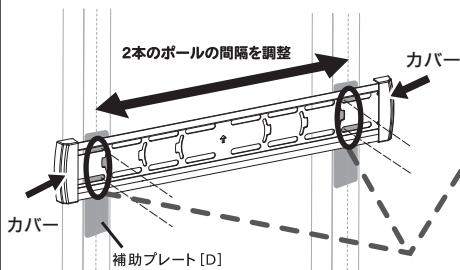
水平を取る場合等は、必ずポール（小）部分を持って調節するようにして下さい。

ステップ 4-C

2 本目のポールの位置の決定 → 仮設置

ベースプレート [A] をポールにあてがって 2 本目のポールの間隔を決めます。

ベースプレート [A] の両端のネジ穴にポール打ち用ボルト（×4 本）を止められる様に 2 本目のポールの間隔を決定します。 ※このステップの目的は 2 本のポールの間隔を決める事です。補助プレートの高さは、まだ調節しなくて構いません。イラストは便宜上、補助プレートの高さも合わせたイメージ図です。



2 本のポールの間隔を決める際に。

ベースプレート [A] のネジ穴はプレートの両端、図の位置の上下のネジ穴を使用して下さい。

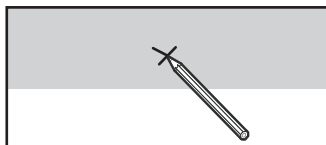


ご注意

ベースプレート [A] の左右側面にネジでカバーを取り付けた後、一番端のネジ穴を使用するようにポールの間隔を設定する。

ある程度 正確な 2 本目のポールの位置が決まったら、天井もしくは床に目印をしてください。

2 本目のポールを「ステップ 4-A ~ 4-B」を参考に仮設置してください。



ステップ 4-D

4-A ~ 4-C を再チェック

2 本のポールの仮設置が完了しました。以下の点に注意して、4-A ~ 4-C を再チェックして下さい。

①床受盤にある穴は壁に対して平行か? → ステップ 4-A

②2本のポールは天井に対して垂直か? (水平器使用) → ステップ 4-B

③ベースプレート [A] の両端のネジ穴を使用するように 2 本のポールの間隔が保たれているか? → ステップ 4-C

ステップ 5

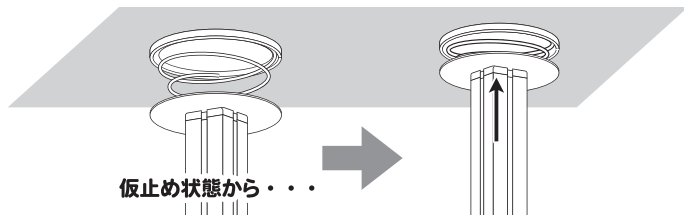
ポールの本設置～スパナを使用した固定



つっぱりポール設置の最重要部分です。

1

ポール（大）を更に真っ直ぐ上に伸ばします。天井に下図イラストを参考に押し込んでください。

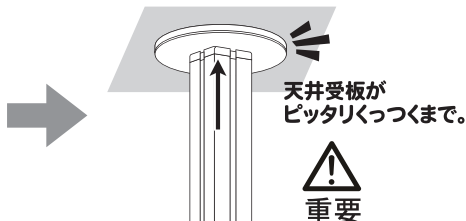
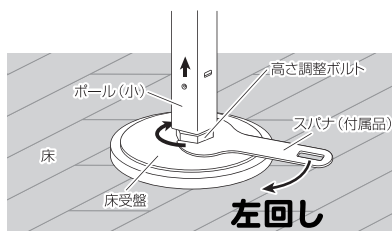


仮止め状態から・・・

仮止めからイラストのように、少しバネが見える程度まで押し込みます

2

付属のスパナを使用してポール下部の床受盤に付いている「高さ調節ボルト」を左に回します。ポールがゆっくりと上に伸びて行き、天井部のバネが縮んでいきます。しっかりと固定して下さい。



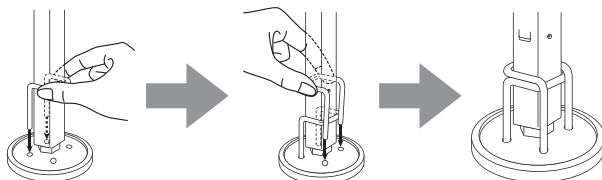
設置の最重要部分です！

- 天井受板がピッタリくっつくまで、必ずボルトを回してください。
- 必要以上に回すと、ボルトが舐めたり 天井を破損します。
- 設置後、手で軽くポールを引っ張り キッチリと設置されているか確認ください。

ステップ 6

回転止めの取り付け

回転止めをイラストを参考にして取り付けます。回転止めはしっかりと奥まで入っている事を確認して下さい。

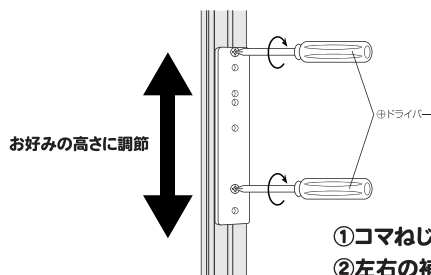


この付属品は、製品本体の回転を「抑止」するものであって、完全に回転は止められませんので、ご注意ください。

ステップ 7

補助プレートの高さの調節と確認

図のようにコマねじを「軽く」緩めて、左右の補助プレートをテレビを壁掛けしたい高さに移動させてください。左右のプレートが同じ高さになるように調節します。



左右のプレート同じ高さに

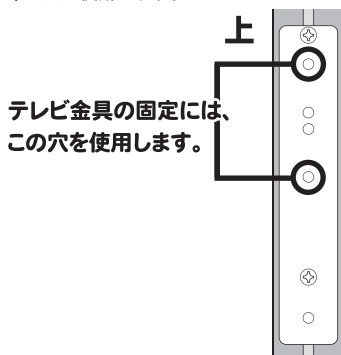
①コマねじを緩め過ぎてコマが取れないように注意 !!

②左右の補助プレートの高さを同じに。あらかじめメジャーを使用してボールにマーキングをすると良いでしょう。

ステップ 8-A

補助プレートのネジ穴の位置の確認

ポールに固定されている補助プレート [D] のネジ穴の内、下図の通り、コマで使用している穴を除いて、「一番上」と「上から四番目」のネジ穴を使用します。



ステップ 8-B

補助プレートにベースプレートをネジ止め

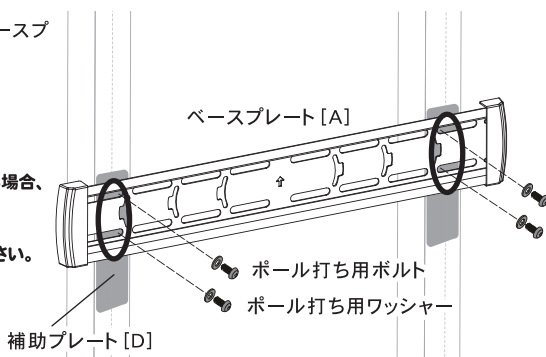
「ステップ 8-A」にある 補助プレート [D] の「一番上」と「上から四番目」のネジ穴に、ベースプレートをネジ止めします。

4 点、しっかりとネジ止めして下さい。



ご注意

2枚の補助プレート [D] の高さが一緒でない場合、無理に設置する事は絶対にお止め下さい。ステップ7に戻って、補助プレート [D] の高さを調節し直してください。



ステップ 9

テレビとポールの取り付け



二人での作業を推奨

テレビをポールに取り付けたベースプレート [A] にロックします。図を参考に慎重に2名で作業して下さい。ロックがしっかりとベースプレート [A] に対して掛かった事を確認するまで、テレビをしっかりと保持して下さい。気を抜きますと、ロックが正しく掛かっていなかった場合、テレビの落下の可能性があります、大変危険です。

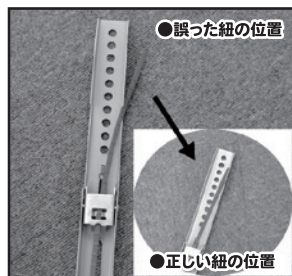
まず、4Pの「**③ロック機構の動きを確認する**」をもう一度よく見て、ロック機構の基本的な仕組みを再確認して下さい。

確認後、ロック部を指で押して、ブラケットとロック部を平行にします。これで設置の準備完了です。

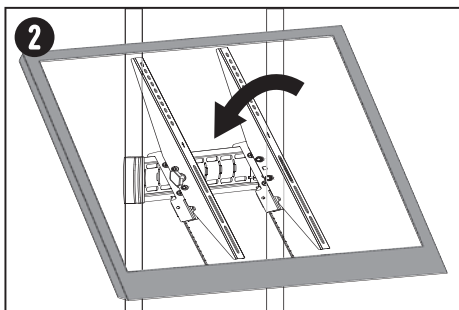


ご注意

ロック紐が右図のように、
ブラケットフック部に引っ掛かった状態での設置はしないで下さい。
金具を取り外すときにロックが解除出来ない場合があります。



テレビ背面のブラケットのロック金具部を押して、ブラケットとロック部が正しく水平である事を確認します。

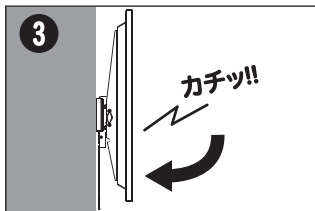


2名以上でテレビを持って、
ベースプレート [A] の上部にブラケットを引っ掛けます。

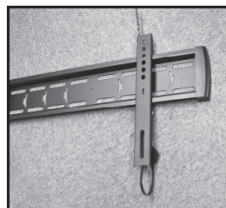


ご注意

テレビの落下に注意して、
必ず2名以上で作業してください。



ゆっくりとテレビ下部をベースプレート [A] に押し当てます。
ロック機構が働いて、
テレビが自動でロックされます。

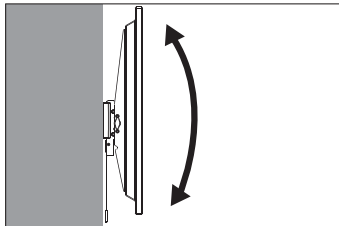
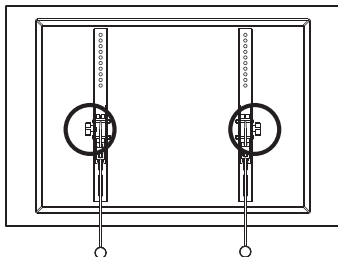


紐は右図のように
畳んで隠してください。

ステップ 10

上下の角度調節について

下図の丸の中にある左右のノブを緩めてテレビの角度をお好みの上下角にして、ノブを固定して下さい。



お疲れ様でした。設置作業は完了です。



ご注意

定期的にポールを軽く揺すって、
突っ張りが効いているかチェックして下さい。
緩んでいた場合、
「ステップ5」を再度行ってください。

メンテナンス 1

ポールを伸ばし過ぎた場合

- 1 ポールを手を持ち、上下を引っ張り返します。ポール（大）の天井受盤側を下に下げ、ポール（小）の床受盤付近の注意シール面を上面に向けます。イラストを参考して下さい。



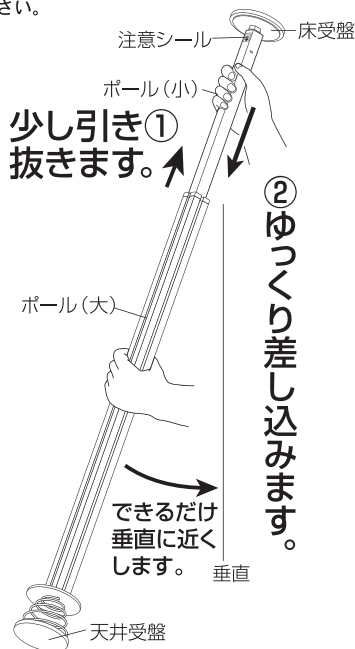
- 2 一旦、ポール（小）を手で握り「少し引き抜く」と内部ロックが解除されます。
- 3 手で握ったまま、今度は「ゆっくり」とポール（小）を差し込んでください。（動作が速いと停まります）

動作が止まった場合、1～3を繰り返してください。



ご注意

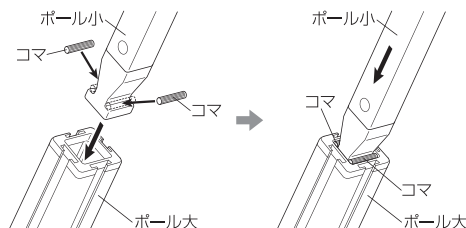
急激に縮めようとすると、床受盤が外れる等の
トラブルの原因になりますので、
必ず手で握った状態のまま「ゆっくりと」
長さ調節をして下さい。



メンテナンス 2

ポール（大）（小）が外れた場合

ポール（大）の天井受盤側を出来るだけ下に下げて（垂直近く）、ポール（大）にポール（小）の先端を少し差し込み、ポール（小）の先端近くの溝に、抜け落ちたコマ2個を横にして1個づつ入れた後、ゆっくりと差し込んで下さい。なお、途中で止まった場合、「メンテナンス1 ポールを伸ばし過ぎた場合」の1～2を行ってください。



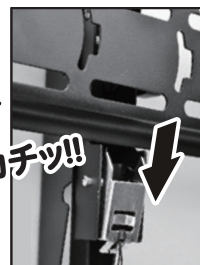
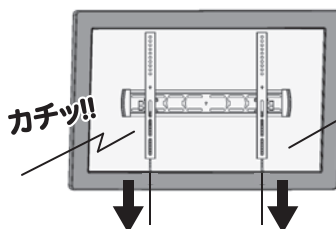
メンテナンス 3

テレビを外す場合



二人での作業を推奨

- ① 各種配線を外しておきます。
- ② ロック紐を引っ張ります。音がしてロックが解除されます。
- ③ 「ステップ9」の逆の手順でテレビを慎重に外してください。

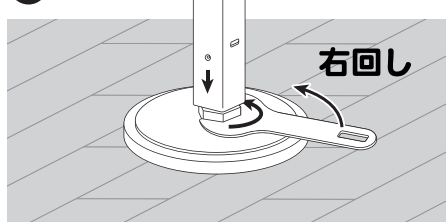


メンテナンス 4

ポールを外す場合

本体下部の床受盤に付いている「高さ調節ボルト」を付属品のスパナで右に回してツッパリを緩めた後、ポール（大）とポール（小）を両手で持ち、上に持ち上げて床受盤を床から少し浮かせてずらし、ポールを外してください。

①



※右回しで十分にツッパリを緩めてください。

②

